

いのちをつなぐ

**SARAYA**

**MD-300(S・A・B)-PHJ**

## 薬液が吐出・噴射しない時の対応方法

- 1) 薬液が吐出・噴射しない時の対応方法
- 2) 完了



本コンテンツは、サラヤ株式会社・東京サラヤ株式会社ならびに関係会社における教育ツールの一環として制作されたものであり、許可の無い使用および転載、その他一切の権利を侵害する行為を禁止します。

MD-300(S・A・B)-PHJ

薬液が吐出・噴射しない時の対応方法



本体の両側のロックを押えてロックを解除し、カバーが保持する位置まで、カバーを手で持ち上げながら開けます。※必ずノズル部分を先に外し、後から薬液ボトル本体を外します。



MD-300(S・A・B)-PHJ

薬液が吐出・噴射しない時の対応方法



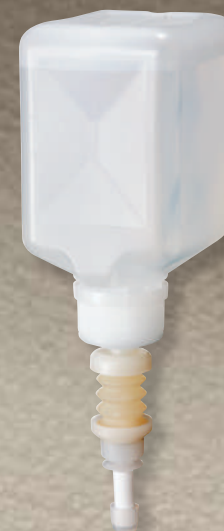
カートリッジボトル



石けんボトル



消毒・便座除菌ボトル



お湯を扱う際は、やけどをしないように注意してください。

ノズルの先端のみを約2分間お湯(約70~80℃)に浸します。



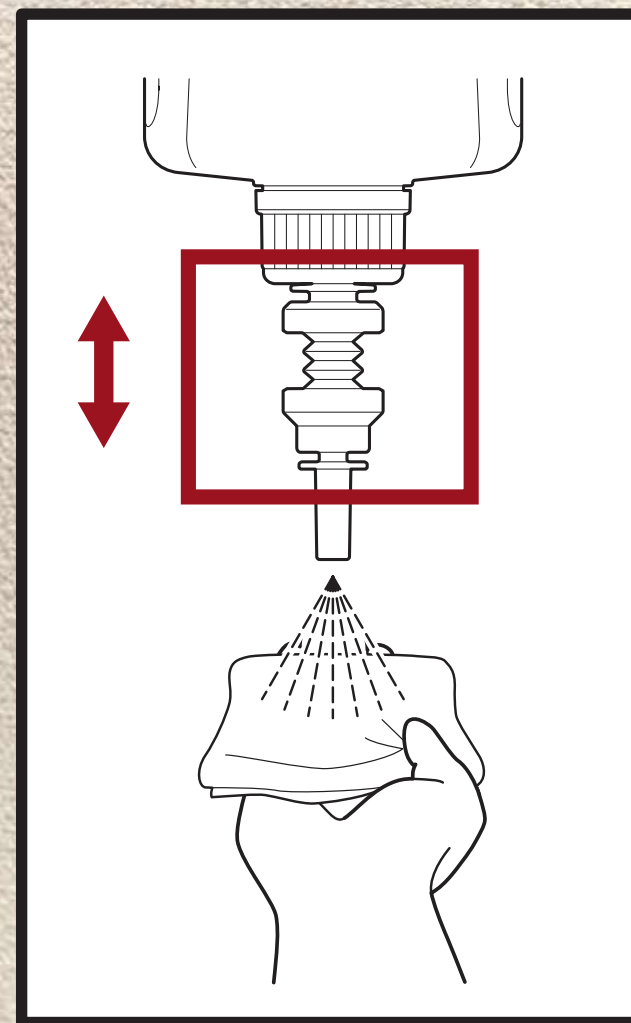
消毒・便座除菌ボトルの場合は、噴射穴拡大や部品の破損に繋がる恐れがあるので、絶対にノズルの噴射穴を針金等の硬いもので掃除しないでください。

ノズル部分を確認し、薬液の結晶やゴミなどが付着している場合は、ノズルの噴射穴にφ0.5mm以下の針金等を差し込んで付着物を取り除いてください。

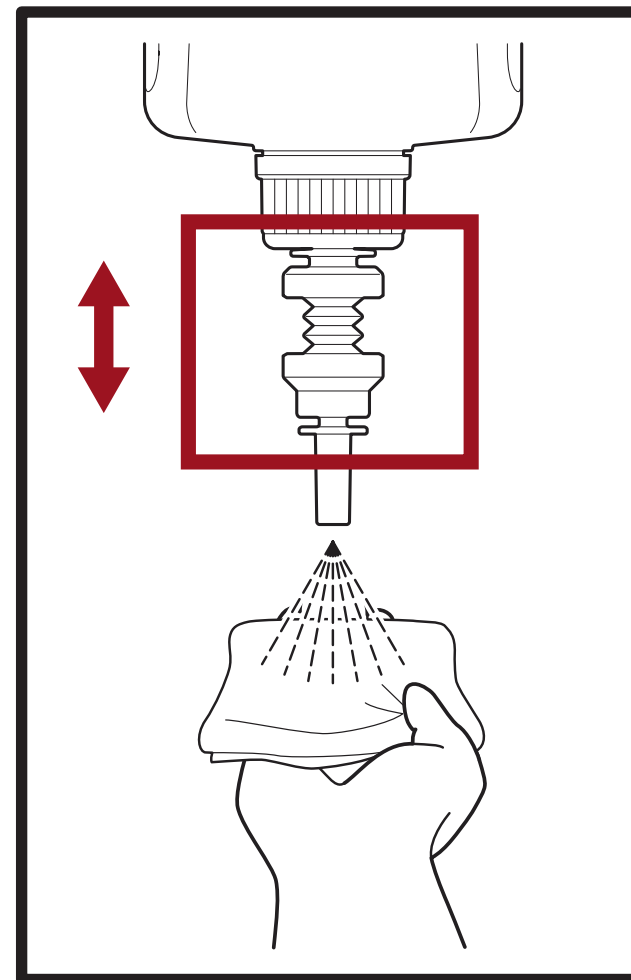
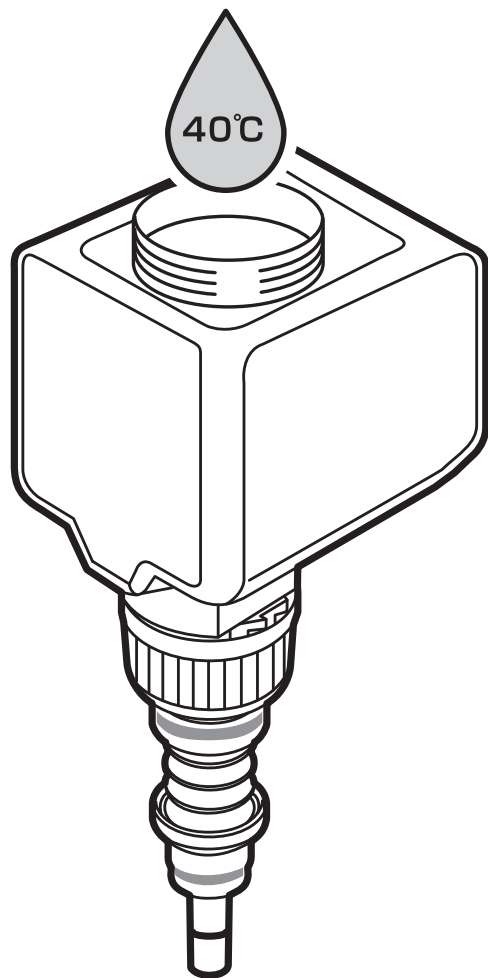


MD-300(S・A・B)-PHJ

薬液が吐出・噴射しない時の対応方法



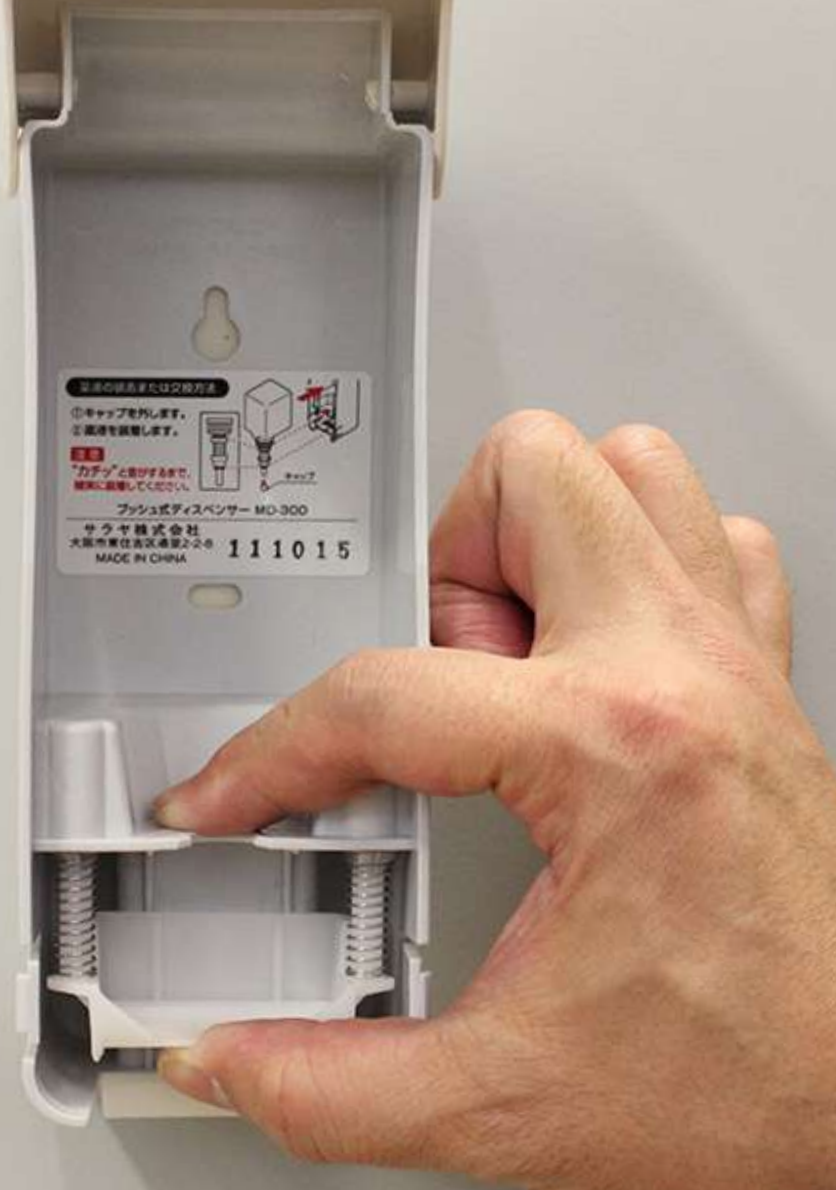
手動でノズルのポンプ部分を上下に動かし、噴射状態が正常か確認します。  
※ 正常に噴射(吐出)しない場合は、新しい薬液ボトルを用意してください。

**■カートリッジボトルに対して、対応していない薬剤を補充した場合**

カートリッジボトルにお湯（約40℃）を入れて洗浄し、再度お湯を入れて数回手動でポンプ部分を上下に動かします。※正常に噴射（吐出）しない場合は、ボトルを用意してください。

MD-300(S・A・B)-PHJ

薬液が吐出・噴射しない時の対応方法



薬液ボトルのポンプを洗浄しても正常に作動しない場合は、スプリングの本数や駆動部分の動きを確認します。





正常に動く場合は、内部でひっかかるような重みを感じます。

薬液ボトルをセットせずにカバーを閉め、通常使用時と同様にカバーを押し、本体内部で駆動部分が正常に作動するか確認します。※動かない場合は、新しい本体を用意してください。



MD-300(S・A・B)-PHJ

完了

いのちをつなぐ

**SARAYA**

以上で作業は終了です。

作業スペースを清掃し、忘れ物に注意しましょう。